

鹿児島県における平成27年のうそ電話詐欺被害は、認知件数は64件（前年比19件増）、被害額は3億7700万円（前年比約1億円増）で前年度よりも大幅に増加しています。また、被害者のうち約8割は、65歳以上の方です。さらに男性よりも女性の方が被害にあっており、その割合は約8割です。送金方法は、振込型に加え、宅配便などを利用させる送付型や、現金を直接受け取りに来る手交型の件数も増加しています。

● 県内年代別・男女別の被害状況

◎年代別

- 65歳以上 / 52件 (81%) ⇒被害総額 / 3億5,230万円
- 65歳未満 12件 (19%) ⇒被害総額 / 2,470万円

◎男女別

- 女性 50件 (78%) ⇒被害総額 / 3億1,870万円
- 男性 14件 (22%) ⇒被害総額 / 5,830万円

垂水市内の状況

平成27年度に垂水市消費生活センターにおいて、有料サイト未納の架空請求や、市役所国保係を名乗った医療費還付手続きの不審電話があった等の相談が10件寄せられています。

うそ電話詐欺の電話がかかってきたら

極端に聞こえるかもしれませんが、電話で「お金（還付金・賠償金等）」の話や「名義貸し」が出たら、すべて詐欺を疑う必要があります。すぐにお金は送らず、必ず、家族や警察に相談してください。いつ自分の家にかかってくるかわからない「うそ電話詐欺」。県内では一人あたり平均589万円の被害が出ています。「私は大丈夫」とは思わず、「電話でお金の話は詐欺」との意識を高く持ち、うそ電話詐欺撲滅にご協力いただきますようお願いいたします。

countermeasure
他人事ではないから

3 万が一の対処法

対策・対処法1 / 最近の手口を知る

還付金等詐欺の場合

市役所職員を名乗る男から「医療費、保険料、税金などの払い戻しがあります。ATMに行ってください。携帯電話の番号を教えてください。」等と言われ、信用してしまい、犯人の指示どおりATMを操作し、現金を送金してしまった！

金融商品等取引名目詐欺の場合

A社を名乗る男から「土地を買いませんか。買い手が見つかったら名義を貸してほしい。」等と電話があった後、弁護士を名乗る男から「名義貸しは犯罪。逮捕されないためには賠償金が必要」等の電話があり、その話を信じて宅配便で現金を送ってしまった！

対策・対処法2 / 電話でお金等の話がでたら「詐欺」

電話でお金（還付金や賠償金等）や名義貸しの話が来たら

- ① すぐに送金しない。 ② 1人で送金しない。
- ③ 家族や警察へ相談する。

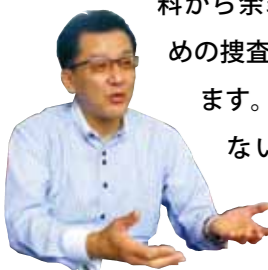
- ▶ 鹿屋警察署垂水幹部派出所 ☎ 0994-32-0110
- ▶ 警察総合相談窓口 ☎ 099-254-9110
- ▶ 消費者ホットライン ☎ 188 (いやや！)
- ▶ 垂水市消費生活センター ☎ 0994-32-1295

Interview

鹿屋警察署
垂水幹部派出所捜査代理

松元 明人 警部補

犯人側も相手をだますために、マニュアルを作り練習を行うなど、手口が巧妙化しています。例えば、還付金等の詐欺になると、「締め切りが明日までです。窓口よりもATMの方が手続きが早いですよ」と言い、指定したATMへ誘導するなどの事例が垂水市内でも発生しています。さらに最近では、「上京型」と言って、被害者を東京まで来させてお金を受け取る方法などもあり注意が必要です。また犯人逮捕後は時間との勝負で、押収資料から余罪の発見のため



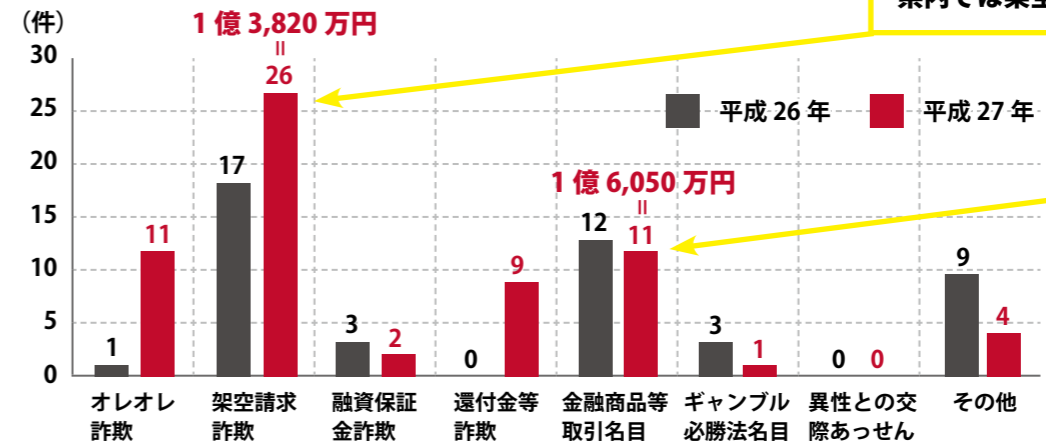
の捜査も行ってまいります。被害に遭わないためにもまずはご相談ください。

present data analysis
県内の現状分析

2 身近に潜む影を知る

● 鹿児島県内におけるうそ電話詐欺被害

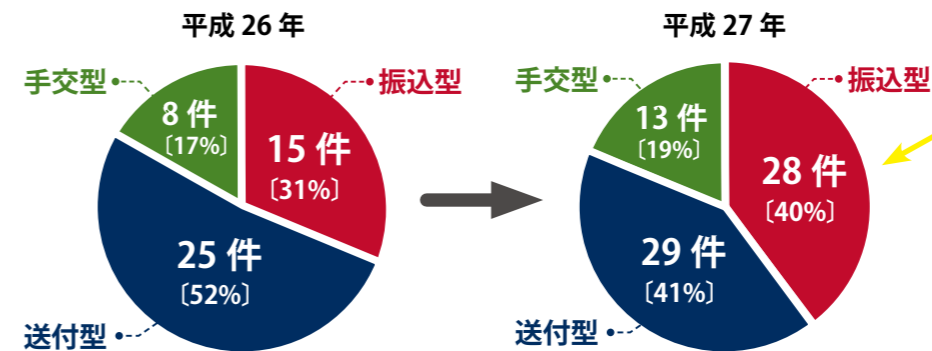
平成27年 被害総額 / 3億7,700万円 認知件数 / 64件
平成26年 被害総額 / 2億6,750万円 認知件数 / 45件



Point 1 / 鹿児島県内では架空請求が多い
全国では、オレオレ詐欺が1番多いが、県内では架空請求詐欺が最も多い。

Point 2
被害額トップは金融商品等名目
被害額で見ると金融商品等名目での詐欺が1位。その被害額は、1億6,050万円。

● 鹿児島県内における被害者の送金方法の変化



Point 3
送金方法も多様化
「振込型」だけでなく、宅配便などを利用させる「送付型」や、現金を直接受け取りに来る「手交型」も増加！

※出典元 / 平成28年度県民の総力をあげて犯罪をなくす県民運動（鹿児島県県民運動実施要綱）